



# 株式会社 エヌ・ピー・シー







Copyright © 2015 NPC Incorporated. All rights reserved.

#### 編集方針

#### CSRレポートの発刊にあたって

当社は、CSR(企業の社会的責任) に係わる取り組み及び考え方をより 多くの皆様にお伝えしたいと考え、 「CSRレポート」を発行しています。

今後も「CSRレポート」の内容を充 実させながら、 継続してCSR活動を推 進していきます。皆様から、ご意見 やご感想をお寄せいただければ幸い です。

#### 報告対象組織

当社グループ全体の活動について 報告しています。

#### 報告対象期間:

2015年度(2014年9月1日~2015年8 月31日)を基本としています。

ただし、重要と思われる一部の項 目につきましては、2015年度以降の データ及び活動内容も含んでいます。

**発行年月**: 2015年11月

(次回発行予定 2016年11月)

#### 参考にしたガイドライン:

本報告書は主に環境省の「環境報 告ガイドライン(2012年版)」GRI※ の「サステナビリティ・レポーティ ング・ガイドライン第4版」、 1S026000等を参考にしています。

"Global Reporting Initiative" Φ 略。1997年に設立された団体で、全 世界で適用可能な「持続可能性報告 のガイドライン」を策定し、その普 及に取り組んでいます。

### 目次

社会性報告

経営者からのメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
会社概要	3
ステークホルダーとの係わり	4

## 環境報告

■ 環境保護に向けで----- 5











. . . . . . . . . . . . . . .

### 経営者からのメッセージ

当社は1992年に真空包装機の製造・販売を目的として事業を開始しましたが、その後真空技術を活 かして太陽電池製造装置を開発し、1994年に太陽電池業界に参入しました。太陽電池業界の黎明期 から市場ニーズを捉えたものづくりをしてきたことで、世界中の太陽雷池メーカーから高い評価を獲得し、 パイオニアとしての地位と世界トップの納入実績を獲得しています。しかしながら、5年程前に世界の太陽 電池市場は一時的に足踏み状態となり、当社の業績は低迷しました。そのような状況下、社長としてのバ トンを引き受けてから約4年の間、既存事業の構造改革や新事業の開拓、また、組織力の向上に取り組 んできました。その結果、当社の主力製品である太陽電池製造装置で培った技術や経験を活かし、太陽 光パネルの受託加丁(OFM生産)や、パネル検査サービスのビジネスを事業化することに成功しました。 全社一丸となって必死に取り組んだ努力が報われ、前々期に黒字転換し、前期も2期連続の黒字化を 達成できました。

主力製品である太陽雷池製造装置では、長年信頼関係を構築してきた主要太陽雷池メーカーとの取 引が安定化しており、今後は新しい地域への販売も積極的に強化していきます。太陽光パネルの受託加 工では、高品質なパネルづくりを継続し、蓄積したノウハウを活かして自社ブランドの高品質な自社製面 面受光パネルの生産にも取り組んでまいります。パネル検査サービスでは、「ソーラーウェルネス®」という 当社主管の検査ネットワークを展開することで、パートナー企業との協力の下、当社独自の検査方法を 普及させ、日本全国の太陽光発電システムが健全に稼動するよう取り組んでまいります。太陽光パネル のリサイクルに関する研究開発もさらにステップアップし、近い将来の事業化に向けて積極的に取り組ん でおります。このように当社は環境や社会が企業に求めるものは何かということを本質的に捉えながら、事 業を展開していくことをCSR活動として捉えています。

つまり、今後も当社の得意分野である太陽光パネルに関 する様々なビジネスを積極的に展開していくことが、太陽電 池市場の健全な成長に貢献していくことに繋がり、サステイ ナブルな社会の構築に貢献できるものと考えております。ま た、そのように現在の社会に必要とされる事業活動を推進 していくことが、将来に渡って当社の事業が継続していくこと に繋がり、ひいては社員、株主、取引先、その他ステークホ ルダーの方々に満足いただくことに繋がると考えております。

.....

.....

今後も持続可能性を意識した企業経営に努めてまいりま すので、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上 げます。

.....



2015年11月 代表取締役社長 伊藤 雅文

### 会社概要

#### 会社概要

### 株式会社エヌ・ピー・シー

NPC Incorporated

所 在 地 〒110-0015

東京都台東区東上野1-7-15

立 1992年12月24日

資 本 金 28億1.246万円

計 員 数 177名(連結), 172名(個別)

決 質 期 8月31日

ホームへ°ーシ\* https://www.npcgroup.net/

#### 連結業績ハイライト



### 事業内容及び製品紹介

当社は太陽光パネルに関する5つのビジネスを展開しています。事業セグメントとしては、装置関連事業および受託加工事業の2つ に分類されます。

#### 装置関連事業



太陽雷池モジュールの製造工程 に必要なすべての装置を単体ある いはラインで提供しています。当社 は当工程におけるグローバル・リー ディング・カンパニーです。



太陽光発雷の健全な成長に貢献 するため、当社独自の検査機器およ び検査サービスの提供に加え、太陽 光パネルのメンテナンスネットワーク の全国展開を開始しました。有用で 信頼性の高い検査方法の普及を目



出力340Wの高品質両面受光パ ネルを開発しています。2016年度 からは自社ブランドでトライアル生 産・販売を開始します。ソーラー カーポートや、積雪地帯/農業地 帯での採用が見込まれています。



太陽光パネルのリサイクル技術開 発に継続的に取り組んでいます。ガ ラスを割らずに、不要な残留物を除 去して効率的に解体する装置の開 発に向けて、国家研究機関(NFDO) のプロジェクトの下、研究開発を進め

#### 受託加工事業



お客様の仕様にもとづき、高品質の太陽光パネルを提供します。安定した生産体制の構築と、様々 なノウハウ蓄積により、今後も「Made in Japan」の品質でお客様の満足度向上に貢献します。また、受 託加工における経験と実績を応用し、当社ブランドの両面受光パネルの試験生産・販売に着手します。

### ステークホルダーとの係わり

#### ■企業方針

### 「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」

••••••

株主・社員・お客様等のステークホルダーだけではなく、環境や地域社会という存在を意識しながら 企業としてどのように係わっていくかを明らかにしなければ、企業の存続は難しいものとなってきました。 当社は、CSRへの取り組みは自社の継続性(サステナビリティ)を高めるだけでなく、社会や地球環境 のサステナビリティを高めるためにも必要不可欠であると考えています。当社はステークホルダー等に支 えられた社会の一員であることを認識し、社会からの要望に応えていきたいと考えており、ひいては、社 会から信頼される企業となり、社会の進歩・発展に貢献することが、結果として当社の発展につながって いくと考えています。

当社が創り出す製品を通じ、地球環境に貢 献することが当社グループの存在意義の1つ であると考えています。そのため、地球環 境保護に努め、環境にやさしい企業活動を 行っています。

世界各国のお客様と取引しています。そのた め、グローバルな体制を築き、お客様の信頼を 獲得できるように取り組んでいます。また、お 客様の声に耳を傾け、製品開発やサービス改善 に役立てています。

地域に根ざした企業として、地域の皆様から 必要とされる企業を目指しています。そのた め、地域社会へ向けた様々な活動及びコミュ ニケーションを行っています。

## 顾引统

取引先との関係を重視して、常に良好な関 係を築くべく努力するとともに、関連法 規・社会規範を順守しつつ、公平・公正な 取引をしています。

.....

## 发育

重要な情報を株主や投資家の皆様へ迅速 正確、かつ公平に伝えるよう努めてい す。また、一方向の情報発信のみならず 株主や投資家の皆様と直接触れ合える機会 を増やしていくことに取り組んでいます。

社員こそが会社の企業価値を高める最も大切 な財産であるとの考えから、社員一人ひとり を尊重し、働きがいを持てる快適な職場づく りに取り組んでいます。

## 環境保護に向けて



当社グループは「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」を企 **業方針とし、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を诵じ、地球環境等に貢献し、あらゆるステー** クホルダーに必要とされる企業へと成長することを目指しています。そのため、地球環境保護に努め、環 境にやさしい企業活動を行っています。

#### ● 環境マネジメントシステム

環境保護に貢献するため、2005年にISO14001を取得 し、環境マネジメントシステムの向上及び環境ガバナンス の強化に取り組んでいます。

#### 環境方針

当社は「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間 に必要とされる企業を目指します。」という企業方針に則り、 NPCグループとして地球環境保護に努め、環境にやさし い企業活動を行うことを環境方針とします。

- ・環境負荷低減に関する技術の開発応用に積極的に 取り組みます。
- ・地球温暖化防止のため、燃料などの省資源・省エネ ルギーに努め、またリサイクルの推進を通じて廃棄物 の削減に努めます
- ・環境関連法規等及び当社が同意するその他の要求 事項を順守すると同時に汚染の予防に努めます。
- ・環境改善にあたり、目的・目標を定め活動を設定しま す。また、定期的に見直し、環境マネジメントシステム の継続的改善を実施します。

環境方針は社内各所に掲示されているほか、当社ホームページを 通じて周知しています。

#### 2015年度(2014年6月~2015年5月)の見直しの内容

- ■登録範囲の更新
- ・経営の合理化等のため、生産設備やメンテナンス機器 が残っていた旧本社を売却し、新本社は事務部門のみ となったため、適用範囲から本社を除外しました。
- ・事業領域の拡大に伴い、「太陽光発電システムの保守 メンテナンンスサービスや検査装置等の提供に関わる 事業活動」を登録範囲に追加しました。
- ■手順書及び外部環境等の更新
- ・ト記の登録範囲の更新に伴い、環境マニュアルを含む 各種手順書を適正に修正しました。
- ・2015年4月1日付『フロン排出抑制法』の改正に伴い、 エアコン及びコンプレッサーの点検を評価すべき環境法 令一覧に追加しました。

#### 2015年度(2014年6月~2015年5月)の活動レビュー

#### ■日標

2015年度は以下の目標を定め、実施計画に沿ってパ フォーマンス改善に取り組みました。

非常に高いレベルで目標を設定していた2件については、 残念ながら未達成となりました。しかし、同様に前年以上 の水準で設定したその他の目標は、すべて達成すること ができました

かできました。				
2015年度環境目標達成項目		対象	達成状況	
社用車の燃費向上	ガソリン:12.0km/ ℓ	松山工場	0	
紅用半の燃質向工	軽油5.4km/ℓ		0	
OA用紙廃棄枚数の削減		本部統括	0	
		設計部	0	
現地手直しにかかる燃料費の削減		電気設計部	0	
追加部品の発生防止		技術管理部	0	
CD廃棄枚数の削減		技術管理部	0	
歩留向上による廃棄部材の削減		受託加工部	×	
装置部品破損案件の削減		装置製造部	0	
太陽光パネルリサイクル技術の確立		開発部	0	
太陽光発電所メンテナンス実施30件		環境営業部	×	

#### ■環境関連法規の順守等

環境に重大な影響を与える事故及び緊急事態、また法 令違反はなく、苦情等を含む利害関係者からのコミュニ ケーションもありませんでした。社員が環境マネジメントを 順守した活動の結果、上記の環境目標未達に伴うものを 除き、不適合は発生しませんでした。

#### ■外部団体による審査結果

軽微な不適合として、浄化槽で発生していた悪臭に対し て指摘を受けました。水質及び透明度に問題はなく、槽の 汚れが原因であったことから、部品交換及び洗浄により対 処しました。また、「浄化槽管理マニュアル」を作成し、再 発防止に努めるようにしています。

上記以外は、軽微指摘はあったものの、適用規格の要 求事項は満足しており、適切に実施・維持されているとい う評価を受けました。そのため、当社の環境マネジメントシ ステムは有効に機能しているという判断により、登録継続 の認定を受けました。

. . . . . . . . . . . . . . .

#### ● 環境関連製品

消費電力を抑えた環境配慮型製品の提供や、間接的 に環境側面の向上を図るような環境配慮型製品を数多く 創出することで、環境保護に対する企業の責任を果たし、 ていきます。

#### 面面受光パネルのトライアル生産・販売

表面・裏面両方で発電する両面受光パネルを、当社ブ ランドでトライアル生産し、販売します。太陽光パネルの中 でも、特に積雪地域や、設置面積が限られる場所での効 率的な発電に向く製品としてニッチ市場のニーズに対応し ます。



両面受光のイメージ

#### 太陽電池製造装置の製造・販売

代表的なクリーンエネルギーである太陽電池の製造装 置を製造・販売しています。太陽電池市場の成長に向け、 製造装置の性能向上やコスト削減に取り組んでいます。

#### 太陽光発電システムの検査・メンテナンス

屋外環境で積雪や強風などに長年さらされる太陽雷池 は、品質や効率を維持するために保守メンテナンスが重 要です。当社では太陽光パネルの内部の状態まで可視 化する検査装置「エプティフ®」や、短時間で太陽光発電 システムの電流・電圧を計測し、レポートにまとめる計測シ ステム「ラキット®」、また、それらの製品を用いた太陽光発 雷システムのパネル検査サービス等を提供しています。こ うした製品・サービス群により、太陽光発電システムの健 全性維持、ひいては環境保護にも貢献しています。



高速電流電圧計測システム

「エプティフ」、「ラキット」は当社の登録商標です。

.....

#### 太陽光パネルのリサイクル技術の研究開発

太陽光パネルの将来的な大量廃棄問題に対応するた め、太陽光パネルのリサイクル技術の研究開発を継続し て准めています。

2015年9月には株式会社浜田(本社:大阪府)と共同 で、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が公 募した太陽光パネルのリサイクルプロジェクトに採択され ました。昨年当社で開発を完了したガラスと封止材の分 離装置に加え、有用な部材を従来よりも効率的にリサイ クルできる装置の開発に取り組んでいきます。



#### ● 環境負荷低減活動

事業活動における省資源・省エネルギーに努め 環境 負荷を継続的に低減する活動を積極的に推進しています。

#### 雷気使用量の削減

松山工場では、工場棟にデマンド(雷力需要)監視シス テムを導入して、省エネポイントの発見、棟ごとのデマンド ピークをずらす等の運用管理を行っています。また、エア コンの自動制御システムによって、コンプレッサーのオン /オフを自動的に行っています。2015年度は全体の電 気使用量は昨年度よりも減少しました。

蛍光灯の間引き点灯や、トイレのジェットタオルや温水 便座の使用の見合わせなど、きめ細かな節雷対策を継 続しています。

#### 太陽光発電システムの設置

松山工場C棟の屋上に設置を計画していた発電容量約 300kWの太陽光発電システムの設置工事が無事完了し、 2015年8月18日に発送電を開始しました。年間約96トン のCO。削減を見込む他、当社が展開するメンテナンスネッ トワークのパートナー企業様向け導入研修や、太陽光パネ ルの経年劣化に関するデータの継続的な取得、コーティ ング剤の効果の検証等にも活かしています。



C棟屋上の太陽光発電システム

• • • • • • • • • • • •

### お客様に向けて



当社は世界各国のお客さまとのお取引に際し、お客様の声に常に耳を傾け、製品開発やサービスの改 **善に努めています。** 

#### ● 製品/サービスの強化

#### 独自の製品/サービスの展開

当社は製造装置事業で培った技術力とノウハウをもとに 太陽光発電システム全般に関わる新しい事業を順次展開 しています。

2015年度には、川下事業への展開をさらに推し進め、日 今後さらに多くの地域で太陽雷池の利用を広げていくた 本全国を網羅する太陽光パネルのメンテナンス・ネットワー ク「ソーラーウェルネス® | 事業を開始しました。このネット ワークづくりにより、当社の検査装置「ラキット」、「エプティー社は各社の仕様に応じた製造装置の提供に務めていま フ」を用いた当社独自の信頼性の高いパネル検査方法の す。 普及に努めています。2016年度には提携パートナー企業 数を30計まで増やす計画です。

また、リサイクル技術においては太陽光パネルを構成する ガラスとセル/封止材の分離に関する研究・開発を継続し ており、ガラスを割らずにリサイクルするという困難なテーマ に挑んでいます。

太陽光パネルの製造装置提供から、パネルづくり、パネ ルの検査にいたるまで、パネルに関する事業を広く展開し、 市場動向に左右されにくい、さらに安定的な事業基盤を確 立していきます。



#### お客様のニーズを満たす製品の強化

当社の研究開発の基本姿勢は、「お客様のニーズを的 確にかつ迅速に装置に取り込む」ことです。

太陽電池の世界的な普及はまだ始まったばかりです。 めに、当社のお客様である太陽電池モジュールメーカー は、高効率化による自社製品の差別化を図っており、当



#### 受託加工事業

日本の太陽雷池市場は、今後住宅用システム市場が 堅調に拡大すると予想されています。

当社では引き続き新たなお客様の開拓を進め、お客様 に満足いただける高品質な日本製太陽光パネルを提供 していきます。





「ソーラーウェルネス」は当社の登録商標です。

#### ● 品質管理の強化と推准

#### 国際基準に削った品質管理

当社は多くの海外のお客様に向けて、各国の規格に 則った装置を提供しています。欧州のCE、北米のUL規 格をはじめ、RoHS指令等の世界各国の規格や法令等の 情報はすべて技術管理部に集約され、当社製品に組み 込まれています。

#### 品質チェック

当社は案件毎に各部署の担当者が集まり、製作過程 においてデザインレビュー(DR)を行っています。初期段 階のDRでは、お客様の要求事項の確認を行い、設計の 方針を決定します。その方針をお客様とすり合わせし、 最終段階のDRでは詳細設計の打ち合わせを行うなど、 各段階で確実なチェックを行い 品質の向上に努めてい ます。

#### 品質管理に関する什組みづくり

品質管理を主管する技術管理部を中心として、定期 的に関連部門が集まり品質管理会議を開催しています。 お客様の要望を「品質管理連絡書」を用いて社内回付し 各部署がそれぞれ得たお客様の要望を会議で集約検 討し、改善策や対応策を決定しています。

#### ISO9001の取得

品質管理を通じてお客様満足度の向上と品質マネジメ ントシステムの継続的な改善を実施していくため、2009 年にISO9001を取得しました。品質方針に基づく主な活 動項目について部門毎に年度目標を設定し、これを達 成するための実施計画に沿って、日々活動を行っていま す。

### 品質方針

当社は開発、設計、製造、販売、サービス、すべてのプロセス において、当社の企業行動規範及び "我々は、もの創りを通し て、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。"という 企業方針に削り、

企業の社会的責任を自覚し、

- 顧客の安全性を何よりも優先し、
- 顧客のニーズを的確に把握し、それを製品へ反映し、

常に、高い品質の製品、サービスの提供を行い、さらなる社会 貢献に努力いたします。

#### ● 展示会への参加

当社は継続的に太陽電池関連の展示会に出展し、お 客様に世界最先端の製品・サービスを紹介しています。 2015年度は太陽光発電システム関連製品やサービス をアピールするため、国内の3つの展示会に出展しました。 太陽光パネルの屋外EL/PL検査装置や、高速電流電 圧計測システム等の展示に加え、当社主幹のメンテナン スネットワーク「ソーラーウェルネス」の墓集を開始し、多く のお客様との貴重な出会いの場となりました。

2016年度も引き続き、積極的に展示会へ参加して、ビ ジネスチャンスを獲得していきます。









2015年7月 PVJapan2015施工展にて

### ● デモンストレーション/説明会開催

2015年10月から、稼働中の太陽光発電所をお借りし て、当社の太陽光パネルの検査装置2種を用いた検査・ メンテナンスのデモンストレーションを行っています。また. これまでの検査で判明した様々な不具合事例や「ソー ラーウェルネス | 等を紹介する、太陽光発電所の検査事 例説明会も実施しています。

関東地方を皮切りに、九州地方、東北地方でそれぞれ 3日間実施し、41社、83名にご参加いただきました。

終了後にはアンケート を実施し、説明のわかり やすさなどを適官振り返 り、より充実した内容とな るよう. 随時改善を図っ ています。



2015年10月 茨城県にて

## 取引先に向けて



当社は、取引先との関係を重視して、常に良好な関係を築くべく努力するとともに、関連法規・社会規範 を順守しつつ、公平・公正な取引先の評価・選定を行っています。

#### ● 公平・公正な取引のために

#### 取引先の選定方法及び評価

取引開始にあたっては、当社が定める「什入管理規程」 に則り、品質管理、価格の有利性、納期の確実性等を総 合的に勘案し、公平な環境を提供しています。

また、継続的な取引のため、取引開始時及び定期的に、 信用度の調査及び反社会的勢力との関係の有無につい て調査を行っています。

#### 下請法等の法規制への対応

関連部署の計量は定期的に外部の勉強会や講習会に 参加しています。また、その講習会で得た知識を社内勧 強会で周知させています。

#### 健全な取引に向けて

取引先との窓口担当者を定期的に変更するなど、健全 な取引を行っています。

#### ● 取引先とのコミュニケーション

#### ソーラーウェルネスの導入研修

パートナー企業に対して松山工場で導入研修を実施し

ています。安心して当ネット ワークを活用して事業を行って いただけるよう、検査実習等の 実技から事業の運用方法、解 析方法の説明等、多岐にわた る講習を実施しています。



### 社会性報告

## 地域社会に向けて



当社は、地域に根ざした企業として、地域の皆様から必要とされる企業を目指しています。そのため、地 域社会へ向けた様々な活動及びコミュニケーションを行っています。今後も地域社会とのつながりを深め られるよう努力していきます。

#### ● 地域社会との交流

#### 「サマー!エコキッズスクール」の開催

2015年8月、松山市の主催により、小学4年生から6年 開催しました。2時間程度のスクールで、太陽電池の仕組 みや特長等を学習するとともに、ソーラーカーキットの製 作・走行や、当社内に設置した太陽光発電システムの見 学等に参加しました。完成したソーラーカーを使ったレース 工夫する子どもたちも見られました。

好天の下、最後はスイカ割りにも挑戦いただきました。



当社では2016年度以降もこう た地域参加型活動を継続し、 地域の皆様や地元自治体との 絆を深めるよう努めます。

#### マツヤマお城下リレーマラソンへの協賛

当社は2015年10月10.11日の2日間松山市で開催さ 生を対象に「サマー!エコキッズスクール」を松山工場で れた、「マツヤマお城下リレーマラソン」に「おもてなしスポン サートとして協替しました。42.195kmを複数の人数で走破 するリレーマラソンは、個人でのエントリーとはまた違った楽 しみ方があり、県内各地から計618チームが参加し、盛況 のうちに幕を閉じました。当社からも社内サークル「チーム の際には、自分のソーラーカーを少しでも早く走らせようと 明日こそ・・・」から2チームが一般の部に参加し、それぞれ 好タイムでゴールしました。

> 地域で行われるイベントに対しては初の協替となりました が、サークル活動による参加と合わせて地域交流の場を 大切にしています。





当社から参加した2チーム

#### 社会性報告

## 株主・投資家に向けて



当社は、企画情報部が中心となり、株主・投資家の皆様に対する迅速、正確かつ公平な情報開示とコ ミュニケーションの場の拡充に努めています。また、一方向の情報発信のみならず、株主・投資家の皆様 と直接意見交換できる機会を増やし、信頼関係のさらなる強化に取り組んでいます。

#### ● 情報開示についての考え方

#### 情報開示方針

当社は、情報開示の基準や方法、沈黙期間の設定や 将来の見通し等を含んだ「情報開示方針」を定め、ホー ムページに掲載しています。

http://www.npcgroup.net/ir/

#### わかりやすい情報提供の充実

当社ホームページでは、財務ハイライトや決算に関する 各種資料を掲載し、当社の情報が手軽に入手できるよう に努めています。また、海外の投資家の皆様にも当社の 情報を公平に発信するため、開示資料、本CSRレポート、 その他重要と思われる刊行物について積極的に英訳し、 英語版ホームページに掲載しています。さらに、IR専用の お問い合わせフォームも設置し、ご意見やご質問等を受 け付けています。

2016年度からは株主総会情報のページも新設しまし た。よりよいホームページ作りを常に心がけています。



#### 各種IR資料

当計は株主・投資家の皆様に、様々な情報をわかりや すくお届けするよう努めています。年2回の決算説明会で 用いた資料等、様々なR資料を適宜ホームページに掲 載するほか、事業報告書を年1回株主の皆様へ郵送で お届けしています。なお、ホームページにアクセスできな い投資家様に対しては、ご要望があれば開示済の各種 資料を郵送でお届けしています。

#### ● 株主・投資家とのコミュニケーション・・・・・・・・・・・

#### 機関投資家/アナリストとの面談実施

社長と企画情報部が中心となり機関投資家やアナリス トとの個別面談を積極的に実施しています。2015年度は 42回の個別ミーティングを行いました。

#### 個人投資家向け説明会/工場見学会

2015年度は、愛媛県、東京都および茨城県で個人投 資家向け説明会を行いました。 今後はこれまで訪れてい ない地域を訪問して多くの個人投資家の皆様に当社に ついてご理解いただけるよう努めていきます。

また、2015年11月には工場見学会も実施し、7名の個 人投資家の方々に製造装置づくりや太陽光パネル検査 のデモンストレーションなど、当社の各種製品やサービス をご覧いただきました。





2015年11月 個人投資家向け工場見学会

#### 株主総会

当社の株主総会は、交通の便に配慮し、JR山手線の 駅から徒歩数分の場所で開催しています。

招集通知は発送の1週間前にホームページで公表し、 株主の皆様に参加を検討いただく時間を長めに設けてい ます。2014年度の株主総会には110名の参加をいただ きました。また、株主の皆様からいただいたご意見は適宜 社内で検討しています。

#### 株主とのコミュニケーション

当社は7年前から、株主総会終了後に会社説明会 (2013年度までの名称は株主懇談会)を開催しています。 株主の皆様と直接対話できる機会や、会社についてより 深くご理解いただく機会を増やすことが目的です。株主の 皆様からの忌憚の無いご意見やご質問をお受けしていま

ソーラーカーレースの様子

### 社員に向けて



当社は、社員こそが会社の企業価値を高める最も大切な財産であるとの考えから、社員一人ひとりを尊 重し、働きがいを持てる職場づくりに取り組んでいます。また、会社の機能をより効率的かつ円滑に進めら れるよう、適材適所の配置や、社員の教育に力を入れています。

#### ● 多様な人材の活用と音成

#### 新人事制度と福利厚牛の充実に向けて

当社は人材を育成して組織力の強化を図り、また社員 の福利厚生を充実させるため、2017年度から新たな人 事制度を導入します。

2016年度からは定期賞与の導入を開始しました。ロー ドマップにもとづき、新しい人事考課方法の整備等、計員 のモチベーション向上と活気ある組織に繋がる制度づくり に向けて、適宜準備を進めています。

#### 計員のスキルアップのための支援

業務上必要なスキルや知識の向上を目的として、エ 場実習を含む新人研修や、管理監督者向けの部長研 修及びグループ長研修等の社内研修を実施しています。 また、TOEICや簿記、空気圧装置組立て試験等、業務 に活かせる資格試験の受験や社外講習の受講をサポー トすることで、社員の能力開発を支援しています。

#### ジェンダーフリー、ダイバーシティの尊重

当社では、外国人や女性の登用を積極的に行ってい ます。女性役職者の割合は約10%で、課長相当職以上 に占める女性の割合を2015年に10%程度とするという政 府の数値目標を達成しています。

#### ● 快適な職場づくり

#### 仕事と子育ての両立

2015年度は4名の女性社員が産前産後休業・育児休 業を取得しました。仕事と子育てを無理なく両立できるよ う、就業時間短縮制度の活用も引き続き呼びかけていき ます。

#### 本社移転

2015年3月、当社創業の地である東京都荒川区から台 東区へ本社を移転しました。川下事業への業務の拡大に 伴い、効率化を図るとともに、老朽化が進んだ旧本社で働 く社員の健康面も考慮して決断したものです。

新しい本社は上野地区のビルの5階に位置し、陽当りも よく社員のモチベーション向上にも繋がっています。

#### 電気保安協会の講習

松山工場には太陽光発電システムを含む構内の電気 設備の点検・維持・管理を担当する電気保全委員会が設 置されています。この委員会のメンバー全員を対象に、 2015年8月、四国電気保安協会の方から安全講習を実 施いただきました。

日常点検における安全確認方法や注意点、電気事故

発生時の対処方法等 をあらためて学んだこと で、電気設備の安全な 維持・管理に役立てて いきます。



#### 社員の声

本社が移転して早くも半年が過ぎました。初めて新しい事務所に足を踏み入れた時の印象は 広い!明るい!きれい!でした。ビルの5下にある事務所の大きな窓からは、天気の良い日は 日中を通して太陽光が降り注ぎ、床には絨毯が敷かれております。室内奥の壁にはベンチソ ファが備え付けられており、10㎡程度のフリースペースもあります。

南側のスペースは日当たりが良すぎて暑い日もありますが、サボテンなど観葉植物は良く育

また、旧本社では部署毎に室内の掃除を当番制で行っていましたが、手が回り切らないこと もありました。今の事務所ではゴミ捨てを含めた、室内全体の掃除をビル管理会社の方に行っ て頂いており、とてもありがたく感じております。



東京本社 営業管理部 浅井 朋美

. . . . . . . . . . . . . . . . . . .

### サークル活動の支援

#### サークル活動

社員間の一層のコミュニケーション促進と、地域社会 活動への参加を目的として2013年度から開始した社内 サークル活動は、3年目を迎えました。2015年度は9つ のサークルが前年度から活動を継続し、参加人数は 117人と、前年度より5名増えました。

フットサル、バレーボールやゴルフ等のスポーツから. バイケツーリングまで幅広い活動が行われ、メインサーク ルだけでなく。複数のサークルを掛け持ちして参加する 社員も見られました。

当社は年に複数回行うそれぞれのサークル活動に対し、 一定額の補助を行っています。社外活動によるリフレッ シュの場となるだけでなく、部署や年齢等の枠を超え、社 員同士で同じ活動を行うことで、普段の業務ではつなが りのない社員間のコミュニケーションを図れる良い機会と なっています。また、自治体主催のイベント等への積極 的な参加も引き続き見られました。当社は、今後もサー クル活動を積極的に支援していきます。



フットサルサークル





ゴルフ・サークル



レクリエーション・サークル 「チーム明日こそ・・・」

#### 計昌の声

「西垣生鉄馬會」は、活動開始より今年で2年目となりますバイクツーリングサークルです。現在12名が所属し ており、少人数ではありますが部署・年齢ともに様々なメンバーが集まったことで、ベテランライダーならではの

ツーリングルートが体験できたり、知る人ぞ知る絶品スイーツを探し求めたり と、誰でも楽しめるプランで開催しております。

普段より通勤や遊びでバイクに乗っている方も多いですが、私の場合サーク ル活動を開始するまでは、乗るキッカケが無く折角のバイクを眠らせておりま したので、最高のチャンスを頂けたと実感しております。

同じように「最近バイク動かしてないなぁ」という方がおられましたら、ぜ ひとも乗るキッカケ作りとしてご協力できたらと考えています。

また、ツーリングだけでなく、いつかはサークルでバイクを1台所有して レースに参戦・・・など、サークル員一同夢が膨らむばかりです。

仕事もサークルも安全第一!をモットーとして、日々充実した生活を送れる 職場環境づくりの一端を担えるよう活動します。



電気設計部

•••••• . . . . . . . . . . . . . . . . . . .

### マネジメント



当社は、企業の社会的責任を自覚し、法令を順守することはもとより、社会的良識をもって行動すべき であると考えています。また、経営基盤となる体制を強化するとともに、リスクマネジメントにより持続可能 な会社を目指します。

#### ● コーポレート・ガバナンス

-----

企業価値の最大化と、高い透明性と柔軟性により経営 環境の変化に迅速に対応できる経営体制の強化に努め ています。

#### 取締役会の役割

取締役5名で構成される取締役会では、経営方針、経 営計画の決定及び業務執行状況の確認、法令順守経営 の徹底に取り組んでいます。

2014年度からは新たに社外取締役1名が加わり、客観 的な立場から発言・提言を行うとともに、経営内容の適切 なモニタリングを行うことで、企業価値の向上につなげてい ます。

当社グループが属する太陽電池市場は、世界各地で拡 大が続く中、日々技術革新が行われています。このような 事業領域の中で経営判断を行うにあたり、市場動向や技 術動向等の十分な能力がなければ、誤った経営判断を 行う可能性もあり、もしもそのようなことがあれば、当社の 企業価値は大きく毀損されることになります。当社の経営 に携わる取締役4名は、太陽電池市場の創成期から太陽 雷池業界に携わっており、業界に精涌しています。

#### 監査役会の役割

経営の意思決定機能を有する取締役会に対して、2名 の社外監査役を含む監査役3名が取締役会に出席する ことで、客観性および中立性を確保しながら経営の監視 機能を果たしています。

#### 会計監査の状況

会計監査については、当社は新日本有限責任監査法 人を会計監査人として選任しています。

当社は金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基 づく監査を受けるほか、会計処理並びに監査に関する諸 問題については随時確認し、また定期的に当社の代表者 との協議を実施しており、財務諸表の適正性の確保と維 持に努めています。

#### 内部監査の状況

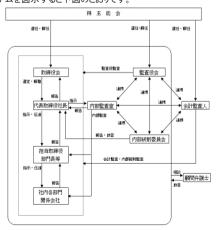
内部監査規程に基づき、内部監査室が連結子会社を 含めた当社の全部門の業務遂行状況について内部監査 を行っています。内部監査室は、各部門の業務活動が決 会、諸規程等に準拠して遂行されているかを監査するとと もに、業務改善、効率性の向上に向けた具体的な指摘及 び業務改善状況のフォローを行っています。同時に各監 査役や会計監査人と適宜連携しています。

#### 内部統制の強化

内部統制システムは、コンプライアンス・リスク管理体制 の構築及び維持・向上を図る上で欠くことができないイン フラです。当社は、全社を横断的に統括する、代表取締 役社長を総責任者とする内部統制委員会を設置し、「内 部統制システム構築の基本方針」及び「内部統制委員会 要領」を定め、内部統制システムの更なる充実に向けた 取り組みを行っています。

#### コーポレート・ガバナンス

当社の業務執行の体制 経営監視及び内部統制シス テムを図示すると下図のとおりです。



. . . . . . . . . . . . . . .

#### コンプライアンス

コンプライアンスとは単なる法令順守ではなく、社会通念 上の常識や倫理に照らし合わせた企業活動におけるルー ル設定とその運用であると考えています。

#### 良識ある行動への啓蒙活動

当社では「株式会社エヌ・ピー・シー企業行動規範」を定 め、良識ある行動への啓蒙活動を行っています。具体例 としては、定期的にISO14001の分科会による各部署や新 入計員の教育の場を設け、各自の環境への意識を高める 活動を行っています。また、定期的にマナー研修も実施し ています。

#### ハラスメントの排除、内部涌報制度の確立

顧問弁護士へのホットラインを設置し、セクシャルハラス メントやパワーハラスメントの排除を徹底しています。なお、 当社の内部統制委員会要領第4項において、社員及び 役員による内部通報行為についても、公式な制度(内部 涌報制度)として認め、涌報者を適切に保護する旨を規 定しています。当該ホットラインでは、役員または社員によ る各種規程やコンプライアンスの違反、その他違法な行 為についての涌報も受け付けています。

#### 反社会的勢力の排除に向けた取り組み

......

当社は「反社会的勢力の排除に関する運用要領」を制 定しており、当社の役職員、業務委託先、仕入先、販売 先のそれぞれについて、暴力団等の反社会的勢力混入 のリスクを未然に防止するための手順を詳細に定め、実 効ある運用に努めています。具体的には、新規に取引を 始める企業に対しては、当社の調査部門がその企業を調 査し、その企業から反社会的勢力との接点がない旨の証 書を取り寄せています。主な株主についても当社の調査 部門が調査し、万が一、何らかの嫌疑があった際の社内 報告フローを定めています。また、当社の役員と社員につ いては、反社会的勢力との関係がない旨の証書を年一回 取りつけています。

#### ■ リスクマネジメント

当社では、想定されるリスクの回避、あるいは当該リスク による被害を最低限にとどめるための仕組みや活動を定 め 経営全般に係わる事柄の不確実性をできる限り軽減 するよう努めています。

#### インサイダー取引防止の取り組み

自社の株式については、「内部情報管理規程」を定め、 インサイダー取引防止に取り組んでいます。当該規程では、 当社の役員及び社員が当社株式を売買する場合には、 社内の決裁を受け、承認後一定期間内に売買を実行し なければならない旨を規定しています。当社の取引先で ある上場会社の株式等の売買についても同様の取り扱い としています。

また、インサイダー取引防止の徹底を図るため、東京証 券取引所のインサイダー取引に関する小冊子を社員全員

に配布し、各拠点にポス ターを掲示しています。また、 企画情報部長が講師となり. インサイダー取引に関する 社内講習を実施しています。 なお、当社役員については、 日本証券業協会を事業主 体とするJ-IRISSシステムへ の内部者情報登録を行い. インサイダー取引の防止に 努めています。



ポスターの掲示

#### 買収防衛策の継続

当社は2007年11月、グローバルな再生可能エネル ギー関連企業としての企業価値を毀損することがないよう、 買収防衛策を導入しました。当社の企業価値及び株主共 同の利益を確保・向上させることを目的としており、2013 年の株主総会において、本防衛策の継続が承認されてい ます

#### 知的財産の保護

2015年度は国内で3件、海外で1件の特許権を取得し、 商標権は国内で4件を取得しました。

技術管理部知財管理グループが、適宜他社特許や商 標等を調査・確認し、他社の知的財産権を侵害しないよう リスク管理に努めるとともに、当社開発技術の特許出願や 新製品の商標出願等を行い、 適官知的財産の保護活動 を行っています。